

一般社団法人 協力隊を育てる会 御中

小さなハートプロジェクト報告書

本報告書や写真等は原則として公開するものとし、一般社団法人協力隊を育てる会が広報等に使用することに同意し、下記のとおり報告します。

平成28年度 3次隊 職種 青少年活動 派遣国 ウガンダ 出身県 福岡

氏名 吉原 伸彦 (よしはら のぶひこ)

1. プロジェクト名 雨が降っても授業を受けたい！小学校に屋根を！屋根建設プロジェクト

2. プロジェクト概要

| 期 間 | 実 施 内 容 | 主たる担当 |
|-------------|-----------|----------------|
| 2017年12月13日 | 入金確認 | ボランティア |
| 12月23日 | 資材等の購入・運搬 | 校長・ボランティア・建設業者 |
| 2018年1月12日 | 屋根建設開始 | 校長・ボランティア・建設業者 |
| 1月12～17日 | 屋根の枠組み建設 | 校長・ボランティア・建設業者 |
| 1月19～25日 | トタン屋根の設置 | 校長・ボランティア・建設業者 |
| 1月29～2月4日 | 壁の補強・完成 | 校長・ボランティア・建設業者 |
| 2月5日 | 学校開始 | 校長・ボランティア・生徒 |
| 2月15日 | 保護者ミーティング | 校長・ボランティア・保護者 |
| 2月16～26日 | 報告書作成 | 校長・ボランティア |

3. プロジェクト進捗詳細

進捗状況①

●資材が運ばれ、ついに屋根建設開始

2018年1月12日に屋根建設が始まりました。2017年12月13日に本プロジェクトにかかる資金は受領していましたが、しかし、この時期はウガンダ人にとって大事なイベント「クリスマス」があり、多くの人は帰省し家族と休暇を過ごします。そのため、関係者との話し合いにより年を明けてから工事を開始することとしました。当初は1月8日に始まる予定でしたが、業者の都合により延期になり、その後も校長先生から何度も確認していただきました。ウガンダでは物事が計画通りに上手くいくことが少なく、スケジュール通りに進めることの難しさを改めて実感しました。

ウガンダでは12月初旬から2月初旬まで学校は休み期間になります。任地の学校では休み期間中に補習やクラブ活動はないため生徒がおらず、自身の活動を進めることが出来ないのが残念です。しかし、今回はこの期間を利用して、生徒に危険が及ばず資材の運搬をスムーズに行えました。まず屋根建設に必要な木材が運ばれ、屋根の枠組みの工事が開始しました。業者の方が3人で作業し、私と校長先生が建設を見守っていきます。これからの工程の話合いや予算の再確認等を行い、今後の建設をモニタリングする日程を決めていきました。



写真①（左）資材が運ばれてきました！



写真②（右）建設をお願いします！（左3人：ワーカー、右：校長先生）

進捗状況②

● 日程変更はあるけど、屋根建設は順調に進む

屋根建設が始まり、約2週間が経ちました。当初の話し合いではこの時期には完成するという話でしたが、雨天による中断や建設業者に他の仕事が入ったため、まだ完成はしていません。日程変更はありましたが、建設自体には大きな問題なく順調に進んでいます。現在、トタン屋根の設置は終了し最終工程の壁の補強に入ろうとしています。壁の補強にはコンクリートやレンガ、水が必要ですが、資材がまだ運ばれていません。ウガンダでは、建設当初にすべて運んでしまうと盗まれる可能性があるため、一つの工程が終了してから次の工程進み、必要な資材運びを始めます。そのため、いつから補強作業が始まるかは未定です。

業者の方3人の建設作業を見守っているとき、「軒先が短く、もう少し長く作ってほしい」と思うことがありました。しかし、業者の方は英語が堪能ではないため上手く伝えることが出来ず、もどかしいこともありました。しかし、何とかして伝えようと私の知っている少しの現地語や、身振り手振りでコミュニケーションを取り、説明することで、業者の方が理解してくれ、要望通りに建設してくれた時は本当に感動しました。その後は、建設を見守っていくうちにお互い打ち解け、言葉が上手く通じなくても信頼できる関係を築いていくことができました。



写真③ 屋根の枠組みできました！



写真④ トタン屋根も付けてもうすぐ完成！

進捗状況③

●屋根建設終了、学校も始まり保護者が視察へ

屋根建設も無事に学校が始まる前に終了しました。ウガンダの学校は、初日に全生徒が集まるわけではなく、約1週間をかけて生徒が集まります。そのため、ほぼ全員の生徒がそろった頃に、校長先生から屋根建設についての説明の場を改めて設けてもらいました。私からも「このプロジェクトは私だけの力ではなく、日本の多くの方々が援助してくださったおかげで行うことができました。小さな学校で問題もまだまだありますが、生徒のためにお互いできることを精一杯していきましょう」と話させていただき、より一層私たちに絆が強まりました。

翌週には保護者と先生たちのミーティングがあり、そこに私も出席しました。この小学校の保護者の方は英語ではなく現地語しか話すことができない方もいるため、ミーティングは全て現地語で行われます。ウガンダでは、私のような外国人が現地語で会話しているととても親近感を抱いてくれます。私は保護者と早く打ち解けるために現地語で話した方がいい、自分の気持ちを現地語で伝えたいと思いました。そこで校長先生に協力してもらい英語から現地語に訳してもらい、それを自分で話しました。しかし、所どころ発音を間違い伝わらない時もあったので、そのときは英語で話し先生達に通訳していただきました。「子供たちの教育の機会を増やしてあげたい」という私の気持ちを伝えました。また今後の自身の活動について、算数や体育の授業のサポート、日本文化の紹介を行い、子供たちに外の世界を知る機会を増やしていくことが目標ということ話し、その思いが保護者・学校にも伝わっていることを願っています。



写真⑤ 無事に屋根完成しました！



写真⑥ 保護者ミーティングにて説明！



写真⑦ 保護者ミーティングの様子

4. プロジェクト成果

屋根建設プロジェクトを終えて約1ヵ月が経とうとしています。生徒もほぼ全員戻ってきて学校が活気づいています。現在、屋根建設した教室も使い授業が行われています。雨が降っても中断することなく授業を続けられるようになり、このプロジェクトの一番の目的を達成することができました。授業を中断しないため、生徒たちは雨天時でも勉強時間を確保でき、また集中して勉強することができるようになりました。今すぐに生徒の学力向上へ繋がっているかどうかを数値化することはできませんが、確実に先生・生徒の意識は変わったと感じています。これからウガンダは3月から5月にかけて小雨期に入ります。この時期も今のモチベーションを保ってほしいと願っています。

屋根建設を経て一番の変化は、校長先生の意識が大きく変わったことだと思います。屋根建設をしたことにより以前よりやる気を出し、意欲的に働いています。もっと学校を良くしていこうと、政府機関や県庁へ赴き設備投資のための資金を集めや、生徒数を増やそうと学校の休み期間に近隣の家を周っていました。校長先生のやる気が先生や生徒へ影響し、学校全体の雰囲気去年より明るく、元気になったと感じます。

保護者ミーティングも終わった後、保護者の一部が私のもとに来て「本当にありがとう。これから私たちもこの学校・子供たちによい環境を与えられるように頑張るね。」と言ってくれました。先生や生徒、保護者までも意識の変化が見られその傾向が今後も続くことを願います。



写真⑧ 屋根の下で勉強中！

5. 感想・苦勞した点・今後の課題等

建設予定が大幅に遅れてしまい、そのため自分の予定や学校側の予定がずれてしまうことが多々ありました。校長先生は学校から離れた町に住んでいるため、彼が出勤していない日は、よく電話で連絡を取り合っていました。その時、言語の違いにより、お互いの勘違いが生じてしまいました。それでも、無事に建設を最後までやり遂げたことができ、最後にはお互いに喜びを分かち合いました。

今後の課題としては、今あるモチベーションの維持とそれを学力向上に繋げることです。私自身、これからもこの学校へ出向き、先生・生徒のサポートをしていきます。また、このプロジェクトを機に日本文化の紹介や日本の生徒との交流を行い、生徒たちの教育の機会をもっと増やしていきたいと考えています。

このプロジェクトを通して、思い通りにいかないことに苛立つこともありましたが、それでも少しずつ完成していく姿を見ると、この気持ちもなくなっていました。屋根建設後、町へ買い物に行くときと以前よりよく声をかけていただけようになり、任地の方々に日本という国を知ってもらうきっかけにも繋がりました。屋根のおかげで雨の日でも勉強ができるのはもちろんのこと、屋根を見るたびに日本との繋がりを感じてもらえたら良いなと思います。今後、屋根建設だけで終わりではなく、任地の方々が教育について何が必要かを考えて行動し、少しずつでも良い方向に進んで欲しいと願っています。大変なことの方が多かったですが、今は達成感がありプロジェクトを実施して良かったなと感じています。



写真⑨ ご支援、ありがとうございました！

6. プロジェクト概算書

収入

| | 項目 | 金額 (現地通貨) | 金額 (日本円) |
|------|--------------------|---------------|-----------|
| 1 | 小さなハートプロジェクトによる支援金 | 5,964,397 UGX | ¥ 198,814 |
| 2 | 被支援者負担額 | 100,000 UGX | ¥ 3,334 |
| 収入合計 | | 6,064,397 | ¥ 202,148 |

支出

| | 項目 | 金額 (現地通貨) | 金額 (日本円) |
|------|-----------------------|---------------|-----------|
| 1 | 木材 | 980,000 UGX | ¥ 32,667 |
| 2 | 釘 | 467,500 UGX | ¥ 15,584 |
| 3 | トタン屋根 | 1,798,000 UGX | ¥ 48,267 |
| 4 | レンガ | 100,000 UGX | ¥ 3,334 |
| 5 | コンクリート | 388,000 UGX | ¥ 12,934 |
| 6 | 鉄紐 | 3,000 UGX | ¥ 100 |
| 7 | 砂 | 130,000 UGX | ¥ 4,334 |
| 8 | 水 | 50,000 UGX | ¥ 1,667 |
| 9 | 工事費 | 1,650,000 UGX | ¥ 55,000 |
| 10 | 交通費 | 200,000 UGX | ¥ 14,000 |
| 11 | 諸経費 | 8,500 UGX | ¥ 284 |
| 12 | 現地事務費 (報告書作成・写真・現像費等) | 50,000 UGX | ¥ 1,667 |
| 支出合計 | | 6,064,394 UGX | ¥ 202,148 |

換算の基礎となったレート (現地通貨とUS\$または円) 1 @ 30UGX

* 上記に書ききれない場合は、別紙にて報告してください。

※支出合計は申請項目以外の支出込で計算。

申請項目以外の支出

| | 項目 | 理由 | 金額 (現地通貨) | 金額 (日本円) |
|----|--------|---|-------------|----------|
| 1. | 銀行手数料 | 振込の際の手数料が引かれる、100UGX 以下は引き落としができない | 10,897 UGX | ¥ 364 |
| 2. | 労働者の飲食 | 労働者 (3名) の飲食の準備。労働日数 20 日で昼のご飯代として 1 日 3,000UGX で計算 式: 3人 × 20日 × 3,000UGX | 180,000 UGX | ¥ 6,000 |
| 3. | 学校へ寄付 | 工事代の残金を学校の給食費へ | 48,500 UGX | ¥ 1,617 |